



**フォルクスワーゲン「T-Cross」、日本国内での「輸入車 SUV」カテゴリで
2022 年年間登録台数第 1 位を獲得**
2020 年 1 月の発売開始以来、3 年連続で第 1 位を獲得



コンパクト SUV「T-Cross」(左:T-Cross TSI Style、右:T-Cross TSI R-Line)

フォルクスワーゲン ジャパン（東京都品川区：ブランドディレクター アンドレア カルカーニ）は、フォルクスワーゲンの SUV シリーズの中で最も小さなコンパクト SUV「T-Cross（ティークロス）」の 2022 年（1 月～12 月）における登録台数が 6,570 台*となり、輸入車の SUV 登録台数 第 1 位を獲得しました。これにより、2020 年 1 月の発売開始から 3 年連続の第 1 位となりました。

*各メーカーが SUV としてカテゴリ化したものを日本自動車輸入組合（JAIA）2022 年年間モデル別 新車登録台数に基づき自社調べ。

「T-Cross」は、コンパクト SUV として日本の道路環境にマッチしたボディサイズによる取り回しの良さやラゲージルームの広さなどの実用性の高さなどが高く評価されています。2020 年 1 月末より販売を開始し、2020 年の年間登録台数は 8,930 台、続く 2021 年には新グレードの追加などによりお客様のニーズに幅広く応えた結果、年間登録台数 9,159 台と、輸入車 SUV として 2 年連続でトップの登録台数（自社調べ）を記録。昨年 2022 年の年間登録台数 6,570 台とあわせて、3 年連続での登録台数第 1 位を獲得いたしました。

フォルクスワーゲン ジャパンは「T-Cross」のほか、昨年 7 月にマイナーチェンジしたクロスオーバー SUV 「T-Roc」、昨年 9 月に待望の 4 輪駆動モデルの追加を行った本格派 SUV の「Tiguan（ティグアン）」を加えた、通称「T シリーズ」3 モデルに加え、同じく昨年 11 月に導入したブランド初のフル電動 SUV、「ID.4」を含めた幅広い SUV ラインアップを展開することで、引き続き多様化する SUV マーケットのニーズに応じていきます。